

広済寺寺報

発行 浄土真宗本願寺派 福田山 廣済寺

〒 933-0344 富山県高岡市笹川98

TEL(FAX) 0766-31-0096

E-Mail info@kosaiji.net

ホームページ

http://kosaiji.net/

法座のご案内

報恩講

十一月五日(水)・六日(木)

午前九時半・午後一時半より

五日(水)午後七時より

仏教婦人会報恩講



今号の法語



何が起こるか
分らないのが
世の中
何をしでかすか
分らないのが
自分

内容・座敷の修繕をしています
・夏休み子ども大会が開かれました
・仏事のQ&A ～報恩講で勤めるお経～
今年も福島へ支援米をお願いします！



八月に起こった広島市の大規模土砂災害、また九月の御嶽山の突然の噴火など、思いもかけない災害が起こるたび、この世の中の怖さを痛感させられます。

毎日のニュースでは、本来あるべきでない不正問題などの犯罪や痛ましい信じられないような事件など、全くもって「何が起こるか分からない」のがこの世の中なのでしょう。

一方で、犯罪などの報道を見ても「自分はこんなこと絶対にするはずがない」とタカをくくっている「私」がいます。『歎異抄』には「人は誰でも、しかるべき縁がはたらけば、どのような行いもするものである」とあります。「何が起こるか分からない」のは「私」も同じ。「私」も含めて、思い通りにはならない世の中を生きているのです。

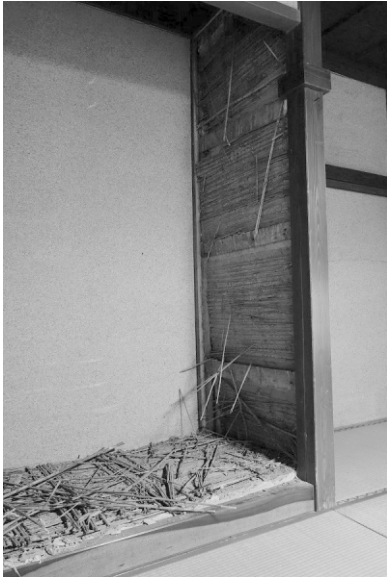
座敷の修繕をしています

床の間の壁が倒れる

七月の下旬、突然に庫裏一階の座敷から大きな音が。行ってみると座敷床の間の壁が大きく剥がれ落ちているではありませんか。

すぐに門徒総代さんにお知らせし、広済寺護持会執行部の方々も加わっていただき、修繕する運びとなりました。

目前に十一月の報恩講を控えているということで、時間的に猶予がない中での工事となりました。ですが、座敷床の間



を修繕するのなら、周辺の天井や壁、また長押などもかけた方が良好との意見もいただき、以前よりもしっかりと座敷となるよう、現在大慌てで修繕中です。

報恩講にはきれいになった座敷などを見ていただけると思っていますので楽しみに！



五位組夏休み子ども大会が開かれました！

八月一日(金)に麻生谷の西光寺さんにて、第十六回五位組夏休み子ども大会が開かれました。各校登校日と重なってしまいましたが、今年も四十四名の子どもたちが集まってくれました。今年は新ゲームなども織り交ぜながら、広い本堂において所狭しと走り回りました。紙芝居、仏教讃歌、自転車BMXショー、ヨーヨー釣りなどなど皆で楽しい時間を過ごしました。

この子ども大会では、



皆で遊ぶのはもちろんですが、仏さまの前での作法やお経の唱え方なども学びます。かわいい子どもたちが一生懸命に仏さまにお参りしている姿は大変ありがたいと思います。来年も開催予定ですので、今度はお父さんお母さんもお一緒に、仏さまとの時間を過ごしましょう！

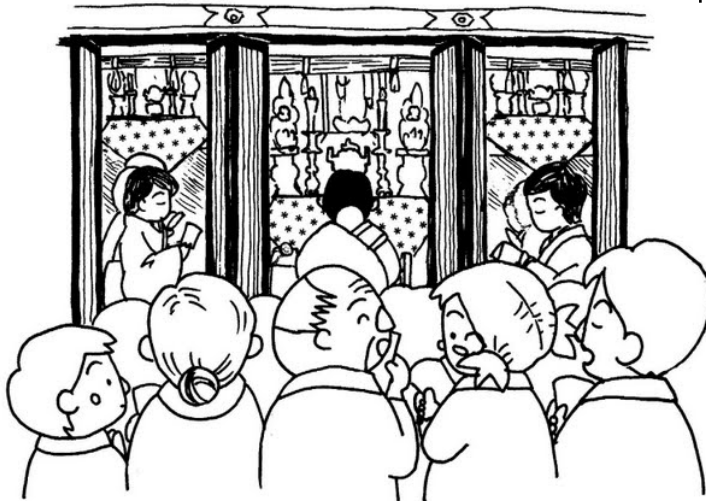


仏事の疑問 Q & A

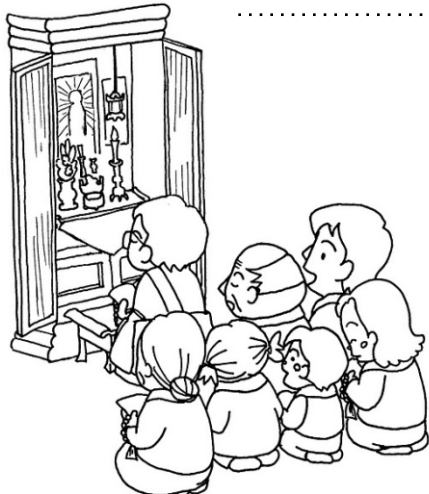
質問 報恩講ではどんなお経が勤められているんですか？

毎年勤められる報恩講(ほんこさま)ですが、「普段聞き慣れない変わったお勤めの時がある」という声をいただきました。他に二種類をお勤めしています。一つ目は、『往生礼讃』。非常に心地よい旋律で、リズムカルなお勤めです。

私たちにとってよく聞き慣れているのは、「きくみよむりよ」(帰命無量)で始まる『正信偈』だと思えます。もちろん報恩講でも『正信偈』をお勤めするのですが、お寺の報恩講ではそれ以外のお勤めをすることもあります。では何をお勤めしているかというと、地域性が大きく関わってきます。広済寺周辺のお西(本願寺派)のお寺では、大きく分ければ『正信偈』の



この『往生礼讃』は、昔は仏さまの前での毎日のお勤めに用いられていました。毎日のお勤めといえば、今日では『正信偈』ですが、これは室町時代に蓮如上人が広めたものなのです。ですから、『往生礼讃』とは蓮如上人以前にさかのぼる非常に歴史あるお勤めということになります。後鳥羽上皇による浄土教団弾圧にまつわるお話では、この『往生礼讃』がとても美しい音曲であったと伝えられています。次の二つ目は、『対揚・教化』陀經』をメインとするこのお勤めは、報恩講の最終日に用いられています。今となつては、京都の本願寺にも残っており、地方だからこそ昔からの伝統が残っている、味わいのあるお勤めです。



お寺の報恩講には、門徒さんはもちろん、近隣のお寺さんも多くお参りしてくださるので、大変にぎやかな雰囲気の中でのお勤めとなっています。さて、報恩講はお寺でもお勤めしますが、各ご家庭でも報恩講をお迎えするというのが真宗門徒の伝統です。広済寺では、秋頃から門徒さん宅での報恩講が始まります。普段なかなかお参りできないご家族も、この日だけでもできるだけ皆でそろって、仏さまの前で『正信偈』をお勤めさせていただきますよう。

お知らせ

二〇一四年

おみがき

十月二十八日(火)

午前九時より

報恩講

十一月五日(水)・六日(木)

午前九時半より

午後一時半より

御講師

伏木組 龍善寺

山名 一徳師

御伝鈔拝読

十一月五日(水)

午後四時より



子ども報恩講

十一月五日(水)

午後五時半より

仏教婦人会報恩講

十一月五日(水)

午後七時より

御講師

新湊組 覚円寺 若院

青木 哲隆 師

正信偈を読む会

毎月第三土曜日

午後四時より

広済寺仏教婦人会

毎月第四土曜日

午後七時半より

※月参りについて

十一月四日・五日・六

日の三日間はお休みさせていただきます。

今年も福島へ支援米を！

おかげさまで、福島県相馬地区への支援米活動も今年で四回目を迎えることが出来ました。昨年は県西部の本願寺派寺院・門徒で七・三トンのお米を送らせていただきました。そのお米の一部は、各メデイアで大きく報道された「命のおにぎり」(広済寺寺報第二十

四号参照)としても活躍し、避難して

おられ

る方々

の笑顔

に、わ

ずかで

はあり

ますが

力とな

らせて

いただ



くことができました。(写真) 支援米は、誠に勝手ながら新米(できれば玄米)でお願いしております。十一月六日(広済寺の報恩講二日目)まで広済寺にて受け付けております。皆さんのご支援をよろしくお願い致します。

編集後記

ノーベル賞ウィークでは、世界が盛り上がります。もはや日本人の受賞者も珍しくはなくなりました。

一方で、「憲法第九条にノーベル平和賞を」の運動も改めて取り上げられました。「平和」について今、日本は真剣に考えなければならぬ時期です。今号表紙のように「何をすべきか分からない」私たちだからこそ。